

# No.52 茨城県那珂市（道の駅整備）

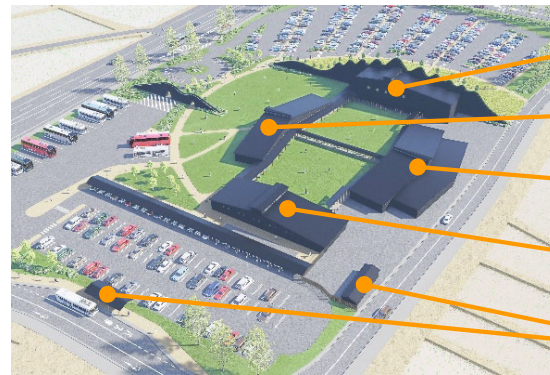
地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月2、3回程度）
キーワード	#観光振興 #6次産業化 #魅力発掘 #地域ブランディング #販路開拓 #官民連携

## 【目的】

那珂インターチェンジ周辺を活用した地域活性化を図るため、複合型交流拠点施設「道の駅」を整備する。本市と地域内外の魅力をつなげる拠点として「道の駅」を整備し、魅力的な機能・サービスの提供を図る。

## 【内容】

各種委員会を設置し、施設設計、コンセプト立案、コンテンツ企画、収支計画の策定に向けた検討を行う。「道の駅」の運営における事業採算性など、経営的な視点に着目した事業計画の立案により、持続可能な施設運営を実現するための総合的支援を行う。



- 南棟（製造直売・フードホール・観光案内）
- 東棟（カフェ・休憩スペース・トイレ・道路情報案内）
- 西棟（農産物直売所・観光物産販売所・加工施設）
- 北棟（屋内あそび場・子育て支援）
- その他施設（防災機能・交通アクセスの向上）

## 【成果（見込み）】

運営効率を考慮した施設設計、飲食コンテンツの展開、サービスコンセプトの決定  
出荷者組合の設立に向けた生産者への理解促進



# No.109 静岡県・松崎町（町営施設方向性検討支援業務）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月2回程度）
キーワード	# 魅力発掘 # 地域ブランディング # 地方創生 # 関係人口拡大 # 古民家再生 # 文化財活用 # 官民連携 # 賑わい創出

## 【目的】

町内に存在する重要文化財や観光拠点等を含む施設群について、町民とのワークショップを通じ、中長期的な視点での方向性の整理を行い、具体的なアクションプラン策定を行うことを目的とした。

## 【内容】

- ・岩科地区ワークショップ ※合計3回  
（重要文化財 岩科学校が対象）
  - ・修繕に向けた休館スケジュールの検討
  - ・岩科学校を中心とした地域の将来像検討
  - ・教育委員会等関係機関との連携検討
- ・大沢地区ワークショップ ※合計3回  
（道の駅 花の三聖苑／旧依田邸・依田之庄が対象）
  - ・地区住民を対象とした将来像検討
  - ・10年後を見据えた施設の在り方・役割の整理
  - ・民間委託・譲渡の可能性検討および事業者との協議
- ・ワークショップ結果を踏まえた来年度以降の方向性・実行計画の整理



（第1回岩科地区ワークショップ）

## 【成果（見込み）】

- ・6つの町営施設について現状調査及び分析を行った。（R6）
- ・重要文化財岩科学校において、修繕に向けた休館の必要性について住民理解を促進し、今後の修繕・再開後の活用に向けた方向性を整理。（R7）
- ・道の駅花の三聖苑および旧依田邸・依田之庄について、地域住民とともに10年後の将来像を共有し、活用・委託・譲渡等の選択肢の検討や地域主導での活用方法を整理。（R7）

# No.151 徳島県鳴門市（地方創生推進に係る総合支援業務）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#地方創生 #関係人口拡大 #移住定住促進 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #賑わい創出

## 【目的】

鳴門市総合戦略掲載事業をはじめ、各種地方創生施策を推進するに当たり、総合的な支援業務を行う。

## 【内容】

- 鳴門市大麻町のまちづくりに係る諸課題の発見・整理等支援業務
- 総合戦略掲載事業をはじめ、各種地方創生施策推進に係る課題整理・助言等業務

## 【成果（見込み）】

民間企業等でのノウハウや経験、高い専門性を活かしたアドバイザーの知見により、鳴門市大麻町のまちづくりについて議論する「大麻町未来づくり会議」の審議や（仮称）大麻町総合防災センターの運営等について助言を受けるなど、本市の諸課題に対する解決等に向けた支援を受けている。



「大麻町未来づくり会議」の様子

# No.181 宮崎県・宮崎市（経営分析及び道の駅アドバイザー）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和4年度・令和5年度・令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#道の駅 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #若手活躍 #女性活躍 #賑わい創出 #他世代交流

## 【目的：令和4・5年度】

市の所有する物販施設は、利用者数や収支、老朽化等、施設ごとに課題を抱えており、今後の施設の方向性・あり方について具体的に検討する必要がある。

## 【内容：令和4・5年度】

○専門的知識を活用した物販施設の現況分析及び分析結果に基づく指導、助言。

## 【成果：令和4・5年度】

○城の駅は、売り場の配置変更や集客効果を見込める特産物の研究・開発等を次期指定管理者の公募条件に反映し、新たな事業者へ指定管理者を変更した。

○交流プラザきよたけは、積極的な自主事業や情報発信による新規顧客の獲得等を次期指定管理者の公募条件に反映し、利用者の増加に繋がった。

## 【目的：令和7年度】

道の駅田野は令和4年度の分析結果や交通量、利用者の状況等を勘案し、移転整備基本計画の策定を行う。

## 【内容：令和7年度】

○専門的知識を活用した道の駅の現状分析及び分析結果に基づく移転整備基本計画の策定支援。

○地元座談会に出席し、将来のビジョンや施設イメージの意見を募り、地域の声を反映した施設づくりに向けた対話を重ねることで、移転整備基本計画に関する地元との合意形成を図る。

## 【成果（見込み）：令和7年度】

○専門的知見を踏まえつつ、地域の声を反映した移転整備基本計画の策定を行った。

○住民参加型の検討プロセスを経ることで、地域住民の愛着と当事者意識（機運）を醸成し、将来にわたり地域に愛され活用される道の駅の基盤を築いた。



地域座談会の様子

# 【R6】No.2 北海道釧路市（阿寒丹頂の里エリア活性化総合支援）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、関係人口の創出・拡大、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和4年度～令和6年度（月1、2回程度）
キーワード	#地域活性化 #魅力発掘 #賑わい創出 #コンテンツ造成 #経営改善 #経費削減 #情報発信 #伴走支援

## 【目的】

- ①阿寒丹頂の里エリアの魅力向上を通して地域活性化に繋げる。
- ②滞在時間の長い『日中滞在型エリア』として機能充実と新たな魅力創出を図る。

## 【内容】

- ・阿寒丹頂の里エリアの魅力向上に向けた活性化策の検討や提案、及び支援
- ・持続可能な管理運営に必要な経営改善策の支援  
⇒ 成功事例に基づいたノウハウを落とし込んだ提案や助言



新メニュー完成発表会

## 【成果（見込み）】

宿泊部門：宿泊Webページの改善による予約環境の整備

⇒ 令和5年度利用者と令和3年度利用者(制度活用前)の比較 30.7%増

飲食部門：地元食材を活用した新メニュー開発によるコンテンツ造成、及び市長や地元高校生との完成発表会の開催による情報発信

⇒ 令和5年度利用者と令和3年度利用者(制度活用前)の比較 34.7%増

温浴部門：「ありがとう風呂」や各種サービスの実施による誘客、利用促進

⇒ 令和5年度利用者と令和3年度利用者(制度活用前)の比較 11.1%増

その他：バードフェスティバル開催による誘客 ⇒ 前年同時期比175.3%



バードフェスティバル



ありがとう風呂